

最新鋭の広角カメラと高速画像処理チップにより、さらに機能が充実した先進の安全運転支援システム。

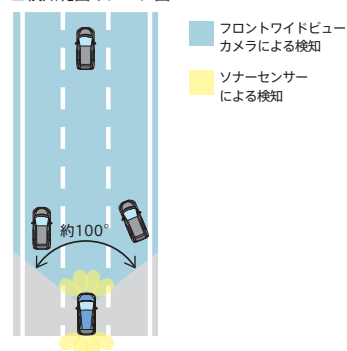
「Safety for Everyone」の思想のもと、誰もが事故に遭わない社会の実現をめざして誕生した「Honda SENSING」。2015年の実用化以来、幅広いモデルへ適用を拡大するとともに、より高性能な新システムの開発に努め、2020年2月にフルモデルチェンジしたFIT同様の新しいシステムを、New VEZELにも採用しました。



新システム概要

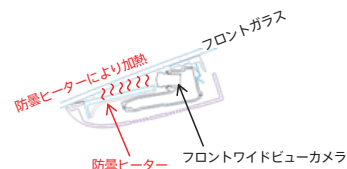
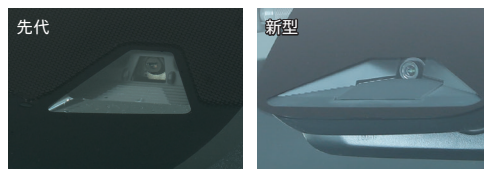
最新の高速画像処理チップにより、これまでミリ波レーダーで行ってきた対象物との距離測定を単眼カメラで実現。約100°の有効水平画角を持つ、フロントワイドビューカメラは、一般道で歩行者が横から車道に侵入した場合や高速道路で他車が自車前方に割り込んだ場合など、いち早く検知します。車両前後にはソナーセンサーを装備し、誤発進抑制機能や後方誤発進抑制機能などを実現しています。

■検知範囲イメージ図



■フロントワイドビューカメラと高速画像処理チップによる検知

フロントワイドビューカメラが対象物を撮影。画像処理チップが対象物の特徴点を検出し、車両や歩行者などの属性を識別します。同時に対象物の大きさの変化、変化に要した時間、自車の速度などから対象物までの距離を瞬時に測定します。またNew VEZELでは、フロントワイドビューカメラの視野部にヒーター機能を装備。ガラスを加熱することで曇りを防止し、フロントガラスが曇りやすい冬場でも安全運転支援システムが動作できる状態を維持します。



■前方ソナーセンサー/後方ソナーセンサーによる検知

車両の前方と後方にそれぞれ4つのソナーセンサーを搭載。音波の反射を利用しガラスや外壁など非金属物も高い精度で検知します。



新システムによる進化点

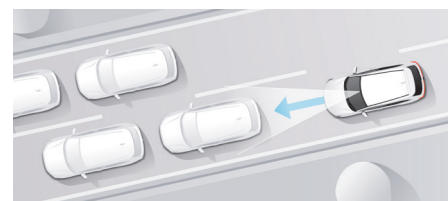
先代モデルに比べ、広角カメラと高速画像処理チップにより、検知能力が向上。前走車や白線などをより高い精度で認識できるので、前走車がいなくなった時や追い越し時の加速レスポンスが向上しました。また、道路の勾配推定も行うので降坂時の速度維持性も向上しています。さらに車両幅、横加速度のタイミングを車両に合わせて最適化。車線変更時に早めに加速し、エンジン回転と加速性のバランスを図っています。

運転をもっと安心に、快適にする11の機能



衝突軽減ブレーキ(CMBS)

車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車を検知し、衝突の危険がある場合に音とマルチインフォメーション・ディスプレイの表示で警告します。衝突の危険が継続しているとシステムが判断した時は、強いブレーキをかけて、停止または減速することにより衝突回避・被害軽減を支援します。
CMBS: Collision Mitigation Braking System



渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール (ACC)

先行車がない場合は設定した車速を自動で維持し、先行車がいる場合は自動で加減速し、適切な車間距離を保つよう支援します。先行車が停車すれば合わせて停車する渋滞追従機能も付いています。